



労働衛生管理活動分科会

会場 京都パルスプラザ（3F 稲盛ホール）〔京都市伏見区竹田鳥羽殿町5〕

交通 京都市営地下鉄烏丸線・近鉄京都線「竹田駅」北西4番出口より徒歩15分
JR「京都駅」八条口からの直通バス・京都らくなんエクスプレス
〔京都パルスプラザ・京セラ前〕下車より徒歩1分

10月24日(木) プログラム(9:00開場)

9:30

① 繰り返し作業における身体的負荷低減への取り組み(エルゴノミクス手法解析)

日機装(株) 金沢製作所
製造技術部 第二グループ スタッフ

杉田 多翔史

部内の小集団改善チームから、身体的作業負荷低減の提案があり、ヒューマンファクタの観点から「エルゴノミクス手法」が最適と判断した。作業内容を数値化し、改善必要箇所を明確にした。分析では、各人の個人差を加味した上で、納得いく条件を導き出すのに苦労した。

9:50

43





労働衛生管理活動分科会

9:50

2 粉じん測定手法の改良による労働衛生管理の推進

マツダ(株)
安全健康防災推進部

早川 凌

当社は、特定粉じん作業以外の作業場においても、作業環境測定による粉じん管理を行っている。その中で、測定結果と実際のばく露量にかい離があることを問題と捉え、個人のばく露量に着目した管理手法を導入することとした。その具体的な測定手法および、評価値設定等について報告する。

10:10

3 ITを活用した作業環境測定管理手法の開発と運用事例の紹介

三菱ケミカル(株)
環境安全部 安全グループ/労制部 健康支援グループ

伊藤 伸也

作業環境測定を効果的な取り組みとする為に、測定計画と計画に基づく測定の実施、そして測定結果の専門家の確認とフィードバックが重要である。当社は事業場等で年間数千件の作業環境測定を実施しており、上記工程を効率化する為に、ITを活用した管理システムを開発したので紹介する。

10:30

4 短時間騒音測定と作業環境測定の比較検討

JFEスチール(株) 西日本製鉄所(倉敷地区)
安全健康室

安松 絵梨

著しい騒音を発する作業場では基準に基づいて作業環境測定が行われている。当社では、間欠的に騒音が発生している箇所があり、そのような場所では、最終的な評価が許容曝露時間と比べて低く出てしまう可能性がある。よって、短時間測定と作業環境測定を比較検討を行った。

(10:50～11:00 休憩) 11:00

講演

健康寿命を延ばすための皮膚との付き合い方～紫外線の影響、皮膚がん予防を中心に～

京都大学 名誉教授
静岡県立総合病院 参与 兼 リサーチサポートセンター長
宮地 良樹

皮膚科の専門医として世界的に知られる講師が、労働安全衛生分野でも活用できる、皮膚のトラブル(紫外線の影響、皮膚がんなど) 防止策を紹介しながら、年齢を重ねても皮膚を完全に保ち、健康で長く働くために留意すべきポイントを解説する。

(12:00～13:20 昼休み) 13:20

特別報告

衛生管理者能力向上教育アンケートについて

全国衛生管理者協議会 事業検討委員会 委員
(椎野労働衛生コンサルタント事務所 代表)

椎野 恭司

全国衛生管理者協議会では会員の衛生管理者を対象に衛生管理者能力向上教育について受講状況等のアンケートを実施したので、その結果について報告する。

13:50

5 安全な有害物質排出のための管理～当事者への教育と管理業務改善～

(大)九州工業大学大学院 生命体工学研究科
戸畑・若松キャンパス技術部

安藤 辰哉

本学では研究や教育の過程で発生する有害廃棄物の安全な排出を行うため、排出者の安全教育や管理体制の構築を行っている。また、排出申請を書類管理からシステム管理へ移行し、担当者の業務改善に寄与した。本発表では安全な排出体制とシステムを利用した業務改善の取り組みを紹介する。

(14:10～14:20 休憩) 14:20

6 マツダ(株)における禁煙推進活動

マツダ(株)
健康推進センター

木島 沙織

当社では「安全・安心な快適職場環境の実現」にむけ、喫煙率低下を目指した禁煙推進活動を展開しているが、近年、喫煙率が下げ止まっている。現状を分析した結果、現業領域の喫煙率の高さが課題と捉え、管理監督者を巻き込んだ新たな取り組みを行った。その活動について報告する。

14:40

7 作業環境測定と作業環境の維持(改善)

JX 金属(株) 磯原工場
環境安全部 主任

仲田 祥健

磯原工場ではインジウム化合物、コバルト等の特定化学物質の製造、取扱いを行っている。特定化学物質に対して作業環境を良好な状態で管理するため、発生源対策を実施し、良好な作業環境が維持できているかを、作業環境測定で確認して管理している。これまでの改善活動等を紹介する。

15:00

8 会員事業場の衛生管理者への支援事業について

(一財)京都工場保健会
顧問 環境保健部担当

高田 志郎

当会では、会員事業場における健康診断、産業医活動、保健師による事後指導および職場の作業環境管理等を実施している。その中で、事業場の衛生管理者および衛生管理スタッフを組織し、労働衛生水準を向上させるための指導・支援も実施している。これらの経緯について発表する。

(15:20～15:30 休憩) 15:30



労働衛生管理活動分科会

15:30

パネルディスカッション

働き方改革に挑む作業管理の役割

座長 産業医科大学 名誉教授 ((一財)日本予防医学協会 理事長)

神代 雅晴

パネリスト 全国社会保険労務士会連合会 働き方改革実務会議 座長
(公社)日本理学療法士協会 副会長

林 利憲

おおさか産業医・労働衛生コンサルタント事務所 代表 (ダイキン工業(株) 滋賀製作所 産業医)

森本 榮

赤築秀一郎

17:00

45